

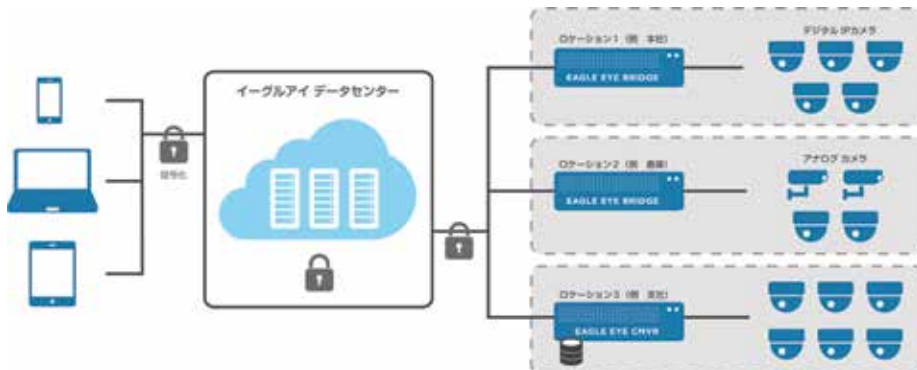
Eagle Eye Bridge

Eagle Eye Networks Bridgeは、ネットワークの使用率と影響を賢く管理しながら、クラウドへの暗号化済の安全な映像データ転送を提供するように設計されたデバイスです。

ブリッジ(Bridge)は、ネットワークの停止時または帯域の変動時の限られた時間内のデータを内蔵のバッファリングシステムに保存します。

ブリッジ(Bridge)はこのバッファリングシステムを使用して、動体解析を可能にし、高解像度映像がクラウドに送信されるか、または録画を開始することなくデータを削除するかを判断します。

ブリッジ(Bridge)とCMVRを使用したEagle Eyeアーキテクチャ



Eagle Eye CMVR

Eagle Eye Networks CMVRは、帯域が確保できない環境やローカルとクラウドで冗長録画をしたい場合に柔軟なストレージオプションを提供するように設計されたクラウドVMS用録画デバイスです。

CMVRでは、最低コストの課金プランであるM10(クラウド管理+ローカルストレージ)をご提案しています。M10プランの価格は、カメラの解像度や保持時間の影響を受けません。

エンタープライズCMVRモデル(BR520、BR620、BR820)には、RAID構成されたホットスワップ可能なハードドライブが含まれ、より高い処理スループットを提供し、他のモデルよりも高いメガピクセル負荷に対応しています。

CMVRモデルを使うと、プロジェクトに応じて、クラウドストレージ、ローカルストレージ、またはその両方を利用した構成が可能です。

+81-3-6868-5527
apacsales@een.com
www.een.com

